

松山赤十字病院

開設年 ●大正2年4月1日
開設者 ●日本赤十字社
院長 ●西崎 隆
病床数 ●585床（一般：582床、感染症：3床）
医師数 ●211名（研修医含む）
研修医数 ●69名（初期研修医25名、専攻医44名）
臨床研修指導医数 ●131名
患者数 ●外来 1055.4名/日 入院 509.7名/日（令和3年度実績）

標 榜 科

◆内科◆血液内科◆糖尿病・内分泌内科◆肝臓・胆のう・膵臓内科
◆腎臓内科◆脳神経内科◆呼吸器内科◆循環器内科◆消化器内科◆外科
◆乳腺外科◆血管外科◆呼吸器外科◆心臓血管外科◆小児外科◆脳神経外科
◆麻酔科◆小児科◆産婦人科◆整形外科◆リウマチ科◆リハビリテーション科
◆耳鼻咽喉科◆皮膚科◆形成外科◆泌尿器科◆眼科◆放射線治療科
◆心療内科◆精神科◆歯科口腔外科◆病理診断科◆放射線診断科

プログラムの目的と特徴

目 的

- 1) 医師としての人格を涵養し、プライマリーケアへの理解を深め、患者を全人的に診ることができる基本的な診療能力を修得する。
- 2) 看護師、薬剤師などのコメディカルスタッフとともに診療にあたり、チーム医療の実践を身につける。
- 3) かかりつけ医など地域の医療機関との密接な連携のもとで、地域完結型の医療を学ぶ。
- 4) 後期研修（レジデント）で専門医療を体得するための基礎をつくる。
- 5) 赤十字の使命である災害救護活動や医療社会奉仕活動に積極的に参加する。

特 徴

地域医療支援病院として連携している医療機関から紹介される豊富な症例を通して幅広い臨床研修を積むとともに、各診療科では地域の基幹病院として提供している高度の専門的医療を学ぶことができます。

救急部門の研修は、救急外来の一次救急から救急搬送患者までの初期診療に重点を置き、継続して救急入院患者を担当します。また、選択必修の麻酔科研修も含め、気管挿管・中心静脈確保等の救命に必要な手技を習得します。更に希望する場合は、2年目の選択期間に、他県の赤十字病院の高度救命救急センターでの研修も可能です。

平成19年に「教育研修推進室（臨床研修センター）」を設置し、教育研修担当の看護師、事務職員を配置し、薬剤師、検査技師等のコメディカルスタッフも含めて病院職員全体で研修医を育てています。研修ローテーションは個人の希望を尊重して作成し、研修途中の変更にも柔軟に対応しています。

各診療科では、指導責任医師のもとに、指導医、後期研修医（レジデント）が熱心に指導にあたっています。当院はクラブ活動を推奨しています。余暇も大切に、ゆとりを持った研修生活を送ってほしいと思います。



大正2年に創立、平成25年に100周年を迎えました。令和3年3月15日に新棟（地下1階・地上10階建）をオープンし、令和4年中にはグランドオープン予定です。

〒790-8524
愛媛県松山市文京町1番地
TEL 089-924-1111 FAX 089-922-6892

<https://www.matsuyama.jrc.or.jp/careers/resident/>

院長からのメッセージ

院長
西崎 隆
九州大学卒 外科



当院は、これまで長年にわたり基幹型研修病院、ならびに愛媛大学と九州大学の協力型研修病院として多くの研修医を受け入れ、豊富な教育指導経験があります。救急患者の振り返りを行う「救急部カンファレンス」、診療にすぐ役立つ知識を伝授する「モーニングレクチャー」、エコーなどの検査実技を学ぶ「検査部ワークショップ」、設備の整ったシミュレーションルーム、図書室など、充実した研修ができるよう整備し、その中で皆さんが生涯の目標を見つけられるよう支援しています。

医師になって初めの2年間は、チーム医療に必要な人間形成にとっても大切な時期です。多くの教育熱心な指導医と医療スタッフの指導のもと、皆さんは着実に実力を身につけることができます。



外科系の医師から縫合・糸結びを学ぶ

研修スケジュール

1年次	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
	内科						救急部門		麻酔科	外科	小児科	産婦人科	精神科
	当院												
2年次	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
	地域医療	自由選択科目											
	外部医療機関	当院又は外部医療機関											

必修分野

内 科	24週	精 神 科	4週
外 科	4週	救急部門	8週*1
小 児 科	4週	地域医療	4週
産婦人科	4週	麻 酔 科	4～8週

その他の分野及び選択研修など

- *1 救急部門研修：救急輪番日（救急日）は、外来の一次救急から救急搬送患者までの初期診療に重点を置き、継続して救急入院患者を担当します。2年間を通して救急部門以外の研修期間においても月2～3回程度の救急宿日直を担当します。これにより、救急部門研修を8週とすることも可能です。
- *2 救命救急センター等での重症患者の集中治療・救急医療の研修を希望する場合は、2年次の選択期間に原則として、4～8週間他施設（赤十字病院）における研修を可能としています。

救急研修:

日本赤十字社和歌山医療センター高度救命救急センター
徳島赤十字病院高度救命救急センター

研修責任者からのメッセージ

研修実施責任者（副院長）
藤崎 智明
九州大学卒 血液内科



臨床研修は、皆さんの資質を磨き、医師としての素養を身につけると同時に、患者さんの立場に立てる人格涵養を行うことが出来る唯一無二の大切な期間です。

はじめの2年間は今後の自身の医師像を決めると言っても過言ではありません。

当院は最新の設備を擁し、優秀な数多くの指導医、患者の立場から意見してくれる看護師、知識豊富で頼りになる薬剤師、技術を惜しげもなく伝授する技師、そして皆さんのニーズに柔軟に対応してくれる事務職員が皆さんを支え、育てます。愛媛の地域医療の維持・発展に一緒に貢献してくれる人材育成が我々の責務と考えています。

是非、一緒に頑張ってください。



静脈注射の研修

募集要項

予 定 定 員	16名
応 募 締 切	令和4年7月29日（金）必着
選 考 試 験	令和4年8月9日（火）、8月25日（木） 書類審査、小論文、面接により選考 ※マッチングシステムに参加
応 募 書 類	1) 松山赤十字病院初期臨床研修申込書（DOCX形式） 2) 履歴書（XLSX形式） 3) 卒業見込証明書 4) 医師免許証の写 5) 成績証明書 資格取得見込みの方（1）（2）（3）（5） 資格を有する方（1）（2）（4） ※（1）（2）については当院ホームページの「臨床研修サイト」からダウンロード
研 修 手 当	（年収）1年次 約5,900,000円 2年次 約6,300,000円（令和3年度実績）
宿 舎	契約住宅確保（敷金・礼金は病院負担）
学 会 等	発表者は旅費支給あり

連絡先

担当者●教育研修推進室 酒井

〒790-8524

愛媛県松山市文京町1番地

TEL 089-926-9532

FAX 089-922-6892

MAIL kyouiku_ks.2662@matsuyama.jrc.or.jp



【空港】
バス：道後温泉方面行きにて「日赤前」下車（約40分）
タクシー：（約20分）
【JR松山駅より】
市内電車：環状線古町経由城北方面行きにて「赤十字病院前」下車（約20分）
タクシー：（約15分）
【松山観光港より】
バス：道後温泉方面行きにて「上一万駅前」（約45分）
タクシー：（約35分）